

戸塚環境センターの施設整備について

戸塚環境センターの施設整備について	 P1
1 施設の概要	 P2
2 施設の配置計画	 P3
3 航空写真比較	 P4

戸塚環境センターの施設整備について

(1) 背景

- ・平成 20 年 3 月に東棟焼却炉（1・2 号炉）を廃止（昭和 51 年 3 月竣工）
 - ・西棟焼却炉は 30 年以上稼働
4 号炉が平成 2 年 1 月、3 号炉が平成 6 年 3 月に竣工
平成 22 年度から 24 年度に 15 年程度の延命化を目的に大規模改修を実施
 - ・粗大ごみ処理施設は竣工から約 50 年が経過（昭和 50 年 2 月竣工）
 - ・朝日環境センターは竣工から約 22 年が経過（平成 14 年 11 月竣工）
- 以上のことから戸塚環境センターの施設整備が急務であった。

(2) 概要

戸塚環境センターの現施設のうち焼却処理施設（東棟）、粗大ごみ処理施設及び厚生会館（温浴施設）等の建替工事を行うとともに、新たに自然学習広場を設置するもの。

整備にあたっては、法令及び環境アセスメントを遵守し環境に配慮した施工を心掛けるとともに、安全かつ安定したごみ処理体制を維持するため、災害時にも強いごみ処理施設を整備し、市民生活の安全安心につなげるもの。

(3) 工事名称

戸塚環境センター施設整備工事

(4) 期間

令和 3 年 9 月 29 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

(5) 受注者

日鉄エンジ・極東開発・三井住友・川口土建特定建設工事共同企業体

(6) 監理者

株式会社東和テクノロジー

(7) 金額

476 億 3 千万円（本体工事のみ）

1 施設の概要

(1) 焼却処理施設（東棟）

【建物】

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

建物高さ：約31m（地上5階・地下1階）

延床面積：約14,000㎡

建築面積：約5,900㎡

煙 突：高さ59m（建屋一体型外筒・鋼製内筒型）

【プラント】

処理能力：285t／日（142.5t／24h×2炉）

形 式：全連続燃焼式ストーカ焼却炉

余熱利用：発電約7,900kW、温浴施設等への温水供給

(2) 粗大ごみ処理施設

【建物】

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

建物高さ：22.39m（地上2階）

延床面積：3,439.99㎡

建築面積：2,349.39㎡

【プラント】

処理能力：26t／5h

形 式：高速回転破砕機、大型木質ごみ粗破砕機

(3) 環境啓発棟

【建物】

構 造：鉄骨造

建物高さ：約16m（地上3階）

延床面積：約3,700㎡

建築面積：約1,400㎡

設 備：温浴施設、研修室、環境啓発展示、多目的室等



(4) 自然学習広場

- ・環境啓発棟周辺及び施設内の綾瀬川遊歩道沿いに自然学習広場を設置
- ・綾瀬川沿いの環境に調和した植栽豊かでエコロジカルネットワークを考慮した空間を配置し、多様な生き物が生息しやすい環境を整備



※（2）粗大ごみ処理施設以外は計画当初のもの

2 施設の配置計画

(1) 既存施設の配置と解体対象



(2) 竣工時における各施設の配置計画 (計画時の当初の想定)

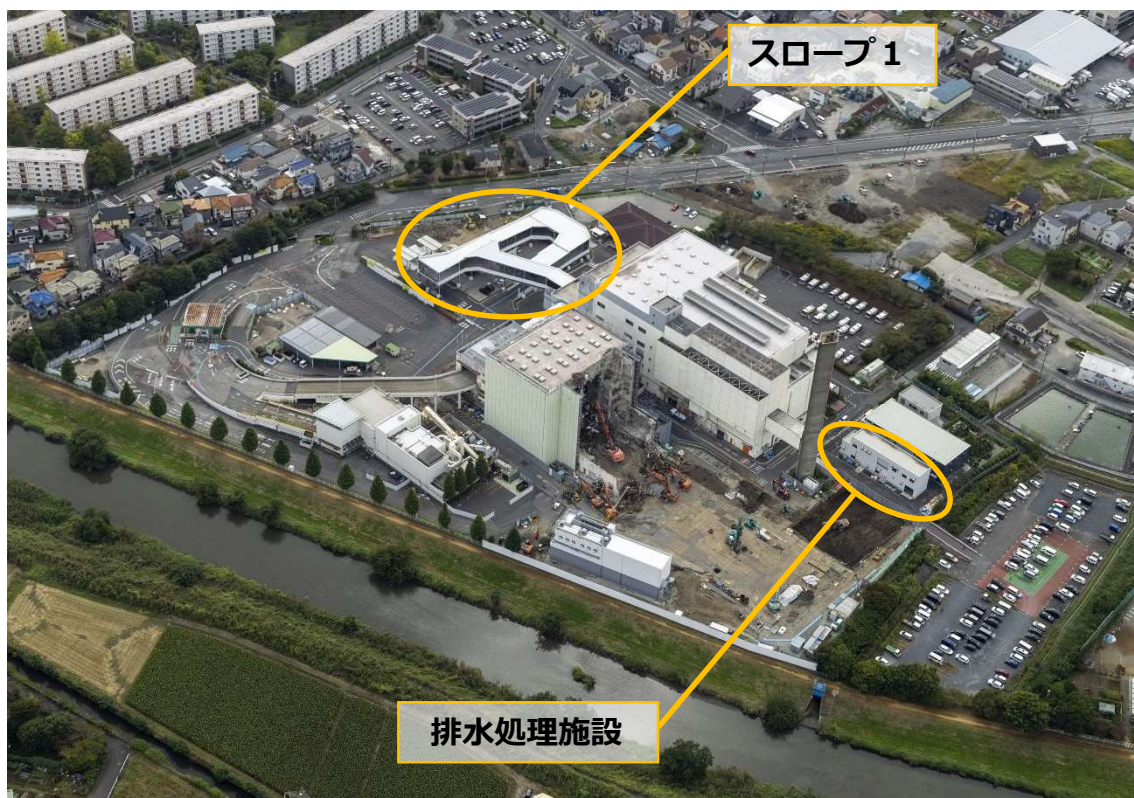


3 航空写真比較

(1) 令和4年3月の航空写真



(2) 令和6年10月の航空写真



※スロープ1や排水処理施設が新設され、煙突1本を含む焼却処理施設（東棟）半分の解体が完了